切手に描かれた富士

Ⅱ．日本と世界をつなぐ富士

日常的に使われる普通切手として、大正期に発行された富士鹿切手は、日本で初めて富士山が登場した切手である。外国郵便としても対応できるよう発行されたもので、日本を表す菊の紋章とともに富士山が描かれている。以降、富士山の図案を用いた普通切手は戦後の新昭和切手まで使われ続けた。

このほか、東京オリンピックや日本万国博覧会といった国際的なイベントで発行された切手、世界各国との修好を記念する切手などにおいて、富士山がモチーフとして用いられており、日本の象徴として世界でも広く認識されていることがわかる。

富士鹿切手
20銭
大正11（1922）年

第1次昭和切手
20銭
昭和15（1940）年

Ⅲ．日本の文化を伝える富士

古来より多くの絵画に描かれてきた富士山だが、なかでも葛飾北斎の浮世絵『冨嶽三十六景』のうち「神奈川沖浪裏」「山下白雨」「凱風快晴」は、日本だけでなく海外にも広く知られており、これらは特に、国際的な催しを記念する切手において日本の象徴として多用されている。

戦後初めて発行された新昭和切手においても、初めて北斎の浮世絵が採用された。同じ図柄が記念切手としても発行されており、浮世絵作品を用いた記念切手の先駆けともなった。

また、北斎の浮世絵以外にもさまざまな名画が切手に使われており、近年では、普通切手の最高額面として発行された1000円切手に田能村竹田の『富士図』が採用された。力強い凹版彫刻の画線と繊細な色調の表現に優れたグラビア印刷が融合し、偽造防止効果の高いグラビア凹版の技術によって、名画が再現されている。

このように、国内外の多くの人々の目に触れる切手において富士山の絵画を図案に用いることにより、日本という国そのものを表すとともに、文化や芸術性を伝えるものとなっている。

国際文通週間 40円
昭和38（1963）年
＊『冨嶽三十六景 神奈川沖浪裏』を図案に用いている。

新昭和切手 1円
昭和26（1946）年
＊『冨嶽三十六景 山下白雨』を図案に用いている。

普通切手 1000円
平成27（2015）年

富士山
お札・切手・旅券に描かれた日本の象徴（シンボル）

富士山は、日本最高峰の山であり、日本を象徴する山として多くの人々に親しまれている。その雄大で美しい姿は、古来より私たち日本人の心のふるさとであり、多くの芸術作品や文学などの題材として、日本だけでなく海外にも大きな影響を与えてきた。

令和2(2020)年に発給が開始された旅券や令和6(2024)年に発行予定のお札のデザインに富士山を描いた『冨嶽三十六景』が採用されたのは記憶に新しいが、私たちがふだん使用しているお札や切手のほか、諸証券といった公の文書においても富士山の図柄が繰り返し用いられている。これらの製品に描かれる富士山は、国や地域のアイデンティティを表現したり、日本を表すアイコンとして対外的に日本をアピールし、芸術文化を伝えたりする媒体としての役割も果たしている。

また、これらの製品には、国立印刷局の高度な技術が使われており、偽造防止効果とともに多種多様な富士山の姿が表現されている。

お札・諸証券に描かれた富士

日本銀行券　E1000円　裏
平成16（2004）年

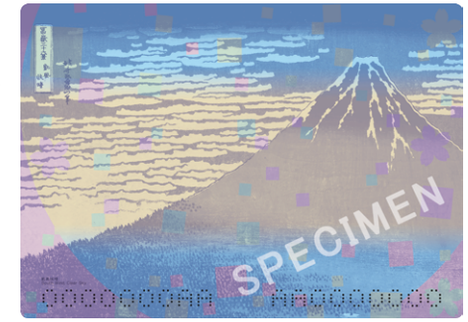
六分半利国庫債券（部分）　1000万円
昭和41（1966）年

日本のお札の裏面には、国を代表する歴史や文化、美しい自然などの図柄が採用されており、戦後から現代にいたるまで、いずれかの額面のお札には必ず富士山が描かれてきた。一方、国などが借り入れを目的に発行する債券など、公の文書においても国の象徴として富士山の図案が用いられている。その雄大な姿は、凹版彫刻による微細な画線で描かれ、お札に偽造防止効果と美観を付与している。

旅券（パスポート）に描かれた富士

海外で自らの国籍や氏名、年齢などを証明する旅券においても、富士山をメインモチーフとし、日本を代表する浮世絵として世界的に広く知られている葛飾北斎の『冨嶽三十六景』が採用されており、日本らしさや芸術性を表すものとなっている。

旅券のデザインに芸術作品が採用されたのは今回が初めてのことで、『冨嶽三十六景』の中から異なる絵柄がページごとに用いられ、桜文様のすかしがすき込まれるなど、お札と同様に高度な偽造防止技術が使われている。



2020年　旅券　査証ページ

切手に描かれた富士

Ⅰ．日本の原風景・富士

富士山は日本の名峰として数多くの切手に描かれてきた。昭和初期に発行された国立公園切手は、初めて写真を原画とした切手である。また、濃淡の表現が豊かなグラビア印刷を日本で初めて採用した切手で、原画である写真を単色ながら忠実に再現したものである。

また、平成25（2013）年に世界遺産として登録された際には記念切手が発行され、日本の美しい自然や世界に誇る文化遺産としての富士山を国内外にアピールした。

一方、静岡県や山梨県といった地方の切手では、富士山のお膝元ならではの風景が地元の産物などとともに表現され、地域振興にも役立てられている。

第1次国立公園切手　富士箱根
6錢　昭和11（1936）年

（左）第3次世界遺産シリーズ　第7集
82円　平成26（2014）年

（右）ふるさと切手
地方自治法施行60周年記念　山梨
80円　平成25（2013）年